

公 開 文 書

研究課題名 (研究番号 739)	免疫チェックポイント阻害薬治療を受けた非小細胞肺癌患者における長期生存例の特徴を明らかにする多施設共同後ろ向き観察研究
当院の研究 責任者(所属)	玉野井大介(呼吸器内科)
他の研究機関 および各施設の 研究責任者	熊本大学大学院生命科学研究部(臨床系)呼吸器内科学 教授 坂上琢郎
本研究の目的	免疫チェックポイント阻害薬は進行した非小細胞肺癌の治療として広く用いられており、一部の患者では調整損が得られることが明らかになりました。本研究で今後の治療選択や予後予測の参考になりより良い医療の提供につながることを予想されます。
調査データ 該当期間	2015年1月1日から2020年12月31日
研究の方法	後ろ向きの観察研究
個人情報の 取扱い	研究責任者による匿名化を行う
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	熊本市民病院呼吸器内科 岸裕人(呼吸器内科)、 玉野井大介(呼吸器内科)
備 考	